

池田町の財政を考える (第5回)

町の借金一人あたりいくら？

借金は下水道会計も

毎年借入金するお金は「地方債」といいますが、過去の累積した借金を「地方債現在高」、簡単に町債残高といえます。

地方債は一般会計だけではなく、公共下水道会計、上水道、簡易水道会計などの特別会計にもあります。

とくに、過去に池田町が多額の資金を投じてつくった下水道施設建設のために膨大な借金がまだ残っているのです。この借金返済のために、現在でも下水道料金その他、一般会計から毎年2億円近く繰出しているのですが、まだ完全な返済まで相当かかりそうです。

一般会計と特別会計を合わせた町債残高は2019年末

でざっと百億円。町民一人当たりになると、百万円の借金を抱えていることになります。

減らない町債残高

下の表は、一般会計の借金と特別会計の借金を合わせた額の推移です。これを見ると、2001年にピークとなった借金残高が、その後10年ほどは直線的に下がっていますね。

本来なら、そのままずっと下がり続けるはずだったのですが、一般会計の借金が増えたために全体としては減り方が大変緩やかになっていました。

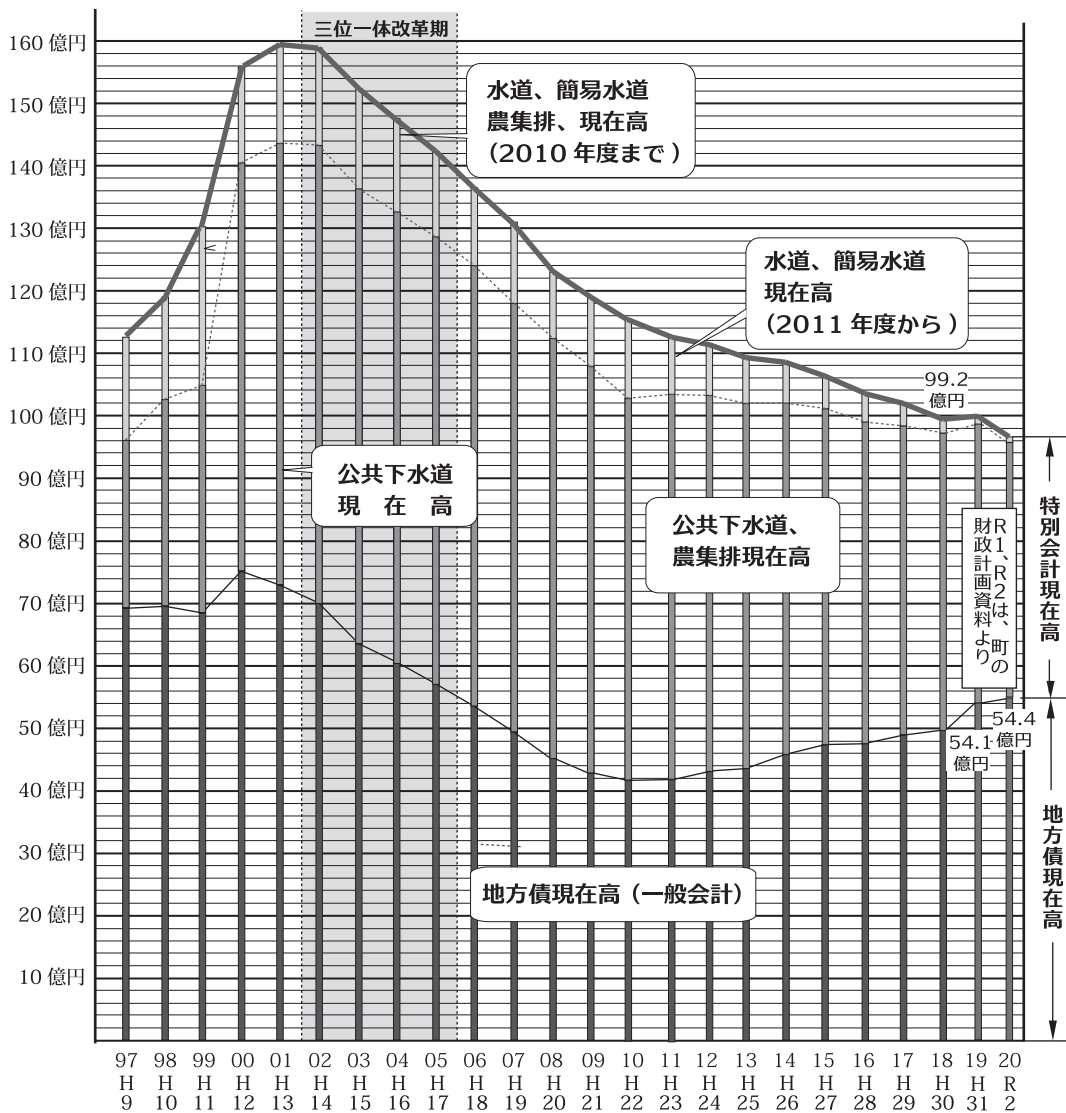
一般会計の残高はまだ増える見込みですから、この累積した借金を返すのにどれだけの期間がかかるのか見

見当もつきません。

水道料金はどうなる？

池田町の水道料金は長野県でもトップクラス(?)

地方債（一般会計+特別会計）現在高



の額です。何とか下げてほしいというのが町民の願いですが、町は「下水道事業債の償還額のピークはしばらく続くため、近隣市町村の状況を見ながら、今後注意が必要です。(M)

ながら下水道料金の改定...を検討して一般会計繰出金の抑制を図る」(H29池田町財政分析表)と書いていますか